

「CR喧嘩番長」は、人気番長アクシオンゲーム「喧嘩番長3」とのタイアップ機。大当たり確率1/392.7、継続率が72%のMAXタイプで、へソ入賞の通常大当たりなら出玉が1350個だが、確変突入時など、電サボから入賞からの大当たりは、全て2000発オーバーの出玉を獲得できる。出玉上等！漢スベックだ。

参加者のアンケートでは、「2000発オーバーはかなり期待できる。通常時にも様々な期待度アップのポイントがあり、楽しめた」「演出が派手で、当たった時の音が気持ちいい」と機種を評価する意見が多く見られた。

ホールへの導入は11月21日より。

アリストクライトテクノロジーズ

『巨人の星』プレス発表会

アリストクライト党党首も応援

「巨人の星」のリップ連が帰ってきた。アリストクライトテクノロジーズが10月13日、都内でパチスロ新機種「巨人の星V」のプレス発表会を開催した。2002年の初代機から5作目となる今作では、リップ連、特訓モード、ナイターランプ、5リールなど原点に戻った演出を搭載。メタルキャビネットの新筐体で登場した。吉松俊男社長は「初心に戻った演出でマンネリ感を払しょくした」と自信をのぞかせた。

発表会では、元衆議院議員の杉村太蔵氏が「アリストクライト党」の党首として登場。5度目の復活を目指す



左から杉村氏、吉松社長、重盛さん

巨人の星の応援演説を行い、もうひとりのゲストで人気アイドルの重盛さと美さんとともに「目指せパチスロの星」と新機種にエールを贈った。

企業

シーグリーンほか(10月11日～13日)ホールエグゼクティブセミナー開催

シーグリーンと業界関連企業の主催によるホールエグゼクティブセミナーが、10月11日の東京を皮切りに、12日に名古屋、13日に大阪で開催され、延べ230名の参加者が受講した。

最終日の大阪では12名の講師が講演を行い、そのうち3会場とも講演した第二営業部の堀川和映氏は「競合に接近戦で勝利する方法」をテーマに、広告宣伝規制の運用方針見直し後の施策を提案。ファンの参加率が落ちている中、エリアマーケティングの視点から、競合店よりも優位に立つために、市場競争優位を構築す

るための仕組みを紹介した。3会場ではこのほか、シーグリーンがタメットCLUBの来店ポイントを活用した様々な効果的なイベント手法を提案した。

南州ソフトウェア(10月13日)顧客動向の分析方法を解説経営幹部向けセミナー開催

南州ソフトウェアは10月13日、大阪で「パチンコホール経営幹部向けセミナー」をエフソン販売と共催。船井総合研究所の岡田龍也氏、加藤振二良氏、南州ソフトウェアの日野藤一郎氏の3名が講師を務めた。

南州ソフトウェアの日野氏は、同社が提供する営業戦略支援ソフト「NAPPA(ナッパ)」の導入店実績データを紹介。広告規制後のエリア客数の変化やイベントがなくなった後の客数動向変化など、データの数値を基にした具体的な分析方法を説いた。

展示ブースではNAPPAのデモンストレーションが行われたほか、スピードと低ランニングコストを誇るエプソンのポスター印刷用プリンタ「PX-F10000」の実演が行われ、来場者の関心を集めた。

マースエンジニアリング(10月17日)子会社合併

マースエンジニアリングは10月17日開催の取締役会で、同社の連結子会社・マーステクノサイエンスと東研を

2012年2月1日に合併することを決議した。マーステクノサイエンスを存続会社とする吸収合併方式で、東研は解散する。今後は両社の合併により、合理的かつ効率的な事業体制に再構築し、コスト削減による財務体質の改善、経営基盤・内部統制の強化を図るとしている。

行政

第23代警察庁長官に片桐裕次氏

国家公安委員会と警察庁は10月14日の閣議承認を得て、17日付で長官等人事を発令。安藤隆春警察庁長官が退任し、第23代長官に片桐裕次氏が昇格した。略歴は左記の通り。

1951年、東京都出身。75年東京大法卒、同年入庁。78年佐賀県警備課長、82年広島県公安課長、91年千葉県警備部長、95年沖縄県本部長、97年警察庁生活環境課長、2001年警視庁生活安全部長、02年京都府本部長、03年警察庁主席監察官、07年同生活安全局長、08年同長官官房長、09年同次長

大阪府警察本部長 坂口正芳 警視監(10月17日付) 1957年、東京都出身。80年東京大法卒、同年入庁。84年愛媛県公安課長、87年広島県西条署長、91年警察庁交通指導課理事官、99年警視庁第方面本部長、2001年秋田県本部長、03年大阪

府刑事部長、09年警察庁長官官房総括審議官

ホール

ガイア(9月27日)8月の電力使用削減率前年同月比35%削減達成

ガイア(本社/東京都)は9月27日、8月の節電対策の結果を発表。全店舗における電気使用量は前年同月比で35.0%削減を達成したという。

東京電力管内の全店舗では41.3%減、東北電力管内の全店舗では39.5%減だった。

プロバグループ(10月1日、2日)フットサル大会で地域住民と触れ合い

広島県を中心にホール出店するプロバグループは10月1日、2日の2日間、「プロバカップフットサル大会」を開催した。今年は88チーム約650名が参加。Jリーグのサンフレッチェ広島のプロサッカー選手も会場を訪れ、参加者たちを激励した。

今大会は東日本大震災被災者支援を目的に、受付ブースに募金箱を設置。さらに、チャリティーイベントとしてキックによる的当てゲームを実施し、2日間で合計6万8558円の募金が集まった。この募金は日本赤十字社を通して全額寄付する。この